

ホールの貸出、利用人数について (11月1日改訂版)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、三密を避けることを前提にご利用ください

・大ホール 客席利用席数 588席

1列目は利用不可とし、その他の客席は1席ずつあけての利用)
(親子室は、1部屋1組)

楽屋等の利用可能人数

個室1・2	各1人	／控室	1人
楽屋1・2・3	各8人	／楽屋事務室	2人

・小ホール 客席利用席数 150席

利用可能客席数が150席(人)までとし、感染拡大防止のできる対人距離を
設け、換気ができる催し

控室の利用可能人数 控室1・2 各3人

・ホールの利用について【令和2年11月1日版】

ホール利用希望の方は必ずお読みください

〈客席利用席数について〉

当館では、ロビー、ホワイエ、トイレなどや客席への入退場時など、完全に三密を回避することが非常に難しいため、利用客席数は原則として収容人数の50%以下とします。但し、主催者が大声での歓声、声援等がないことを前提とし、感染予防策(人員配置や分散利用、動線の確保など)を講じていただき、主催者と会館管理者の双方が実施可能と判断した場合は、利用客席数を100%以内で緩和します。(感染拡大防止対策計画を書面にて提出を依頼することがあります)

〈舞台周辺エリアについて〉

舞台周辺のエリアにおいては、舞台では演出上マスク着用ができない場合もあり、舞台袖、楽屋周りなど主催者だけでなく各関係者の出入りも多いと想定され、出演者、舞台関係など公演に関わるスタッフの感染リスクの軽減のため、楽屋の利用可能人数を上記のとおりといたします。

諸室の貸出、利用人数について

(11月27日改訂版)

・会議室、講習室利用可能人数

以下の施設は換気を行いながら、定員の約半数での利用とします。

1 F	展示室	40人				
2 F	会議室1	8人	会議室2	8人	特別室	8人
3 F	会議室3	40人	講習室1	13人	講習室2	10人
	講習室3	15人	講習室5	15人	講習室6	10人
	講習室7	12人				

- ・利用条件 上記利用人数までの利用とし、別紙チェックシート（※別紙3）の提出を条件に利用可能とします。

・練習室、リハーサル室利用可能人数

利用可能人数	練習室1	5人	練習室2	5人	練習室3	8人
	リハーサル室	20人				

- ・利用条件 上記利用人数までの利用とし、別紙チェックシート（※別紙3又は4）の提出を条件に利用可能とします。

〈会議室、講習室等利用可能人数について〉

・ホールに比べ空間容積も少なく、隣接した会話が想定、机なども設置しているため通常利用人数では対人距離の確保が難しく、またエレベーターやトイレなど共用部の密を避け、季節柄、窓を開けての十分な換気もしづらい状況に注視し、現状としては定員の半数の利用とします。

〈令和2年12月以降の会議室、講習室等利用可能人数について〉令和2年11月27日
昨今の感染状況を踏まえ、12月以降も引き続き原則、定員の半数の利用とします。

・講習室4（調理室）利用可能人数

- ・利用可能人数 18人（3人×6テーブル）
- ・利用条件 利用定員及び下記事項を守っていただくことを条件に利用とします。
 - ・マスク（フェイスシールド）を必ず着用してください
 - ・利用責任者（申込者）は、参加者の体調管理に十分注意を払いご利用ください。
 - ・「ふきん」「食器洗い用の洗剤、スポンジ」などは各自でご準備ください
 - ・備付けの食器、箸、スプーン、フォークなどは使用せず、各自でご準備ください（大皿は避け、個々に利用できる物をご用意してください）
 - ・テーブル、イスなどの消毒を行ってください
 - ・調理器具は、使用前後、必ず食器洗い用洗剤で洗浄してください。
 - ・換気を行ってください。（換気扇をまわす、窓を開けるなど）
 - ・ゴミはお持ち帰りください。

・その他 館内での食事について

- ・館内での飲食については、なるべく避けていただくよう計画を立ててください。ただし、どうしても必要な場合は、対人距離を最低1メートルをあけ座席を配置するなどし、対面にならないようにしてください。なお、お箸などを含む弁当ガラについては、ビニール袋に入れ密封するなど適切に処理し、すべてお持ち帰りください。